

# AlphaScreen 基礎 & アプリケーションセミナー

Alpha (Amplified Luminescent Proximity Homogeneous Assay) は、パーキンエルマー社独自のビーズベースの高感度なNon-RIホモジニアス(Mix&Measure) アッセイテクノロジーです。免疫アッセイや分子間相互作用など、広範囲のターゲットのスクリーニングに理想的なツールです。今回のテクニカルセミナーでは、パーキンエルマー社の試薬チームリーダーの方が説明してくれます。

3月末にゲノミ棟に導入されたTecan社製のプレートリーダーでアッセイ可能です。

自身の研究に役立つアッセイ系が見つかると思います。

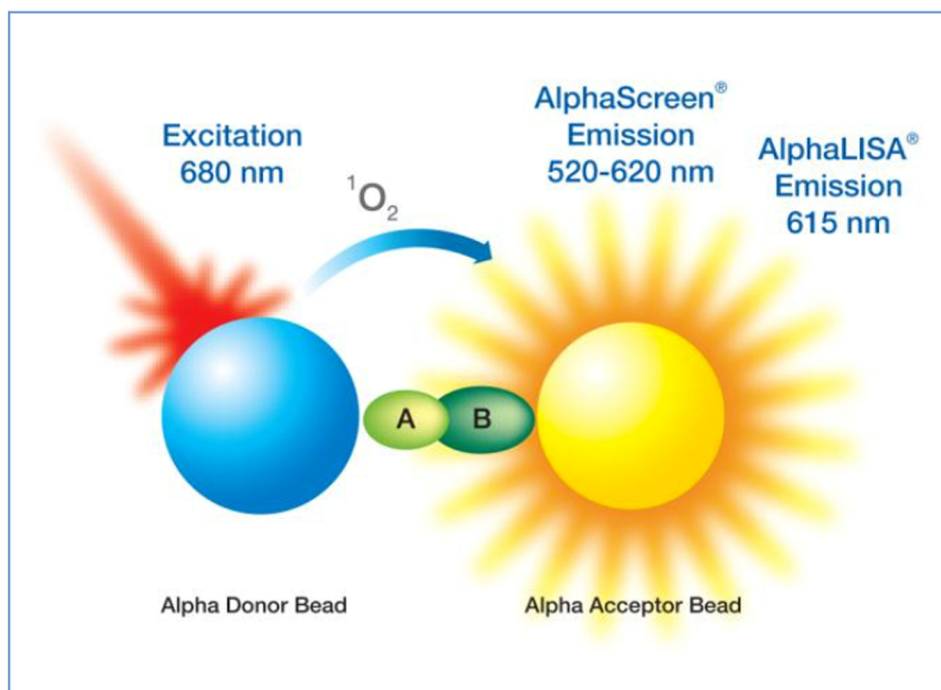


図 1: Alpha による分子間の相互作用検出の原理

ドナービーズ上に結合した分子 A と、アクセプタービーズ上に結合した分子 B が相互作用すると、シグナルが検出されます。ドナービーズは、1 秒間に 60,000 もの一重項酸素を発生させます。一重項酸素と反応したアクセプタービーズ内で生じる発光エネルギーは、同じくアクセプタービーズ内にある蛍光物質に転移され、光を発します。

**日時: 5月26日 金曜日 16時10分～**

**場所: ゲノミクス研究棟2階セミナー室**

お問い合わせ: バイオサイエンス教育研究センター c-bio@cc.utsunomiya-u.ac.jp 028-649-5527